

# 気候変動 × 防災フォーラム

～世界中の気候変動を当事者目線で考え、身近に感じる～

日英同時通訳

参加費無料

近年、想定を超える気象災害が世界各地で頻発し、「気候変動」はもはや「気候危機」と言われています。このたび、「気候変動 × 防災」をテーマとし、県民の皆様に、世界中の気候変動を当事者目線で考え、身近に感じる機会を提供するため、本フォーラムを開催します。

**日時** 令和 6 年 3 月 10 日 (日) 14 時 00 分～16 時 30 分

**会場** 国際健康開発センター 9 階 国際会議室  
(神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1)

**開催方法** ハイブリッド方式 (対面・オンライン)

**定員** 会場 60 名、オンライン 300 名 (先着順)

## プログラム

(第一部)

### 基調講演

「気候変動がもたらす気象災害と身近な環境への影響」

谷口 博

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授

(第二部)

### 海外事例紹介

「モンゴルにおける気候変動の影響および遊牧・牧畜システムの適応の選択肢」

スバダンツエツエゲ・バルタ

モンゴル科学アカデミー 運営企画・国際協力部門長

ファシリテーター:

馬場 美智子

兵庫県立大学大学院

減災復興政策研究科 教授

「海面上昇から洪水やサイクロンまで：フィジーおよびサモアのマルチハザードリスク環境の課題」

アーンドレーウス・ニーフ

オークランド大学 (ニュージーランド) 教授

# 登壇者プロフィール

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授

## 谷口 博

北海道大学大学院地球環境科学研究科にて博士号を取得後、京都大学防災研究所、海洋研究開発機構、ハワイ大学国際太平洋研究センターなどで研究員として従事。2023年より兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授。専門は気象災害、気象学・気候学、地球流体力学。



兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授

## 馬場 美智子

立命館大学大学院理工学研究科にて博士号を取得後、防災科学技術研究所、国土交通省国土交通政策研究所などで研究員として従事。2020年より兵庫県立大学大学院研究科教授。専門は都市・地域安全マネジメント、減災土地利用規制、水害後の住宅再建、減災まちづくり。



モンゴル科学アカデミー 運営企画・国際協力部門長

## スバダンツエツエゲ・バルタ

環境持続可能性の科学、特に遊牧・放牧適応および牧畜の社会生態学的システムの研究に従事。生態学および応用物理学を専攻、リモートセンシングおよびGISで修士号を取得。慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科にて博士号（環境ガバナンス）を取得。専門分野は、生態学的脆弱性・回復力の研究、地方・地域・国レベルでの気候変動適応および牧畜の社会生態学的システム等。現在は開発・戦略政策研究を中心に取り組み、キャリアを積む。科学的な成果を地方・地域・国の政策立案につなげるよう尽力し、科学に基づく政策立案、地元住民のモンゴル科学アカデミーへの参加を推進。



オークランド大学（ニュージーランド）教授

## アードレーウス・ニーフ

オークランド大学（ニュージーランド）開発学教授。気候変動による移住、移動の正義、気候変動への適応、土地収奪、災害後の対応および復旧の分野で研究、出版に従事。APNが資金助成を行う「同じ場所に留まるための移動：フィジーおよびサモアにおけるジェンダー視点での気候変動リスクに対する適応戦略としてのマイクロモビリティおよび循環移住」プロジェクトの研究主宰者。



## 会場アクセス

国際健康開発センター（IHDビル）

神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1

- JR 神戸線灘駅より徒歩約 13 分
- 阪神岩屋駅より徒歩約 10 分



## 参加申し込み方法

右のQRコードにアクセスいただき、参加申込フォームにご記入のうえ送信してください。お申込いただいた方には自動返信メールが届きます。自動返信メールが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

**申込締切 令和 6 年 3 月 3 日（日）**

問い合わせ先：アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APN）

ホームページ：<https://ja.apn-gcr.org/>

E-mail：[apnseminar@gmail.com](mailto:apnseminar@gmail.com)

TEL：078-230-8017



<https://bit.ly/42Ei6ww>